

Acquia
EXPERIENCE DIGITAL FREEDOM

究極のACQUIA SITE STUDIO 利用ガイド

Webページの作成をより速く、より簡単に



目次

04

ACQUIA SITE
STUDIOとは ▶

06

SITE STUDIOはどんな
人に向いているか ▶

08

SITE STUDIOの使い
やすさの秘密 ▶

12

SITE STUDIOがデジタル
体験の構築方法を一新
する理由 ▶

イントロ

自社ブランドのWEBサイト構築に時間もコストもかけなくていい

今日、多くの企業は共通の課題に直面しています。

高品質なデジタルコンテンツに対する消費者の期待は高まる一方で、少ないリソースで短時間にコンテンツを開発し、公開することが求められているのです。

こうした要求の高まりにどう対応すればいいのでしょうか。

コンテンツマーケター、プロダクトマーケター、イベントマーケター、その他のビジネスユーザーなど、より多くのメンバーが簡単にコンテンツ配信プロセスに参加できるようにすることが一つの解決策になります。

Acquia Site Studioは、この実現を可能にします。

ACQUIA SITE STUDIOとは



Acquia Site Studioは、ローコードの視覚的なインターフェースを通じて、社内の誰でもDrupalのWebページを構築できるようにします。

DrupalのWebサイトでは、プロジェクトの各段階で開発者の介入が必要です。ワークフローの中で開発者が必要とされる工程は以下の通りです。

- // **セットアップと導入**
- // **他ユーザーが再利用可能なコンポーネントの構築**
- // **サイトのバックエンドの管理（更新、コンプライアンス、セキュリティなど）**

しかし、一度再利用可能なコンポーネントを構築してしまえば、他のユーザーはコーディングの知識がなくても、Acquia Site Studioを使ってリッチで没入感のあるコンテンツを作成できるようになります。

Site Studioは、デザイナー、マーケター、コンテンツ編集者など、コーディングのスキルを持たない人が、再利用可能なコンポーネントを利用して、より簡単にWebページを構築、編集、管理できるようにします。これにより、企業はDrupalのWebサイトを短時間で立ち上げることができ、さらにはこれまでにないクリエイティブの柔軟性、ブランドの一貫性、そしてガバナンスを実現することができるのです。



SITE STUDIOは どんな人に向いて いるか



Acquia Site Studioは、Drupal 9 (※ 近日中にDrupal 10もリリース予定) を利用されているアクイアのお客様およびパートナーがご利用いただけます。用途としては以下のように設計されています。



マーケター、コンテンツ編集者

Site Studioでは、コンテンツの編集者が更新したいWebページにアクセスするだけで、直接コンテンツや設定を編集することができます。ヘッダーの書き換え、画像とテキストボックスとの入れ替え、ビデオの埋め込み、レイアウトのコンポーネント並べ替えなど、すべて数秒で完了します。視覚的なインターフェイスだけでテキストの追加や書き換え、フォントやスタイル、色、画像の変更などが簡単に行えます。また、ライブラリにあるコンポーネントやページテンプレートを使って、新しいページを作成することも可能です。



サイトビルダー

Site Studioを使用すると、コンテンツやマーケティングチームが編集するDrupal Webサイトを総合的に構築することができます。Drupalのローコード・インターフェースによるサイト構築、Site Studioのローコードテーマ化ツールにより、コンテンツアーキテクチャからテンプレートやスタイリングまで、あらゆるものを作成することができます。



ブランドマネージャー

Site Studioのテンプレートを使用することで、ブランドマネージャーは企業のブランディングやデザインに沿ったコンテンツを作成することができます。ヘッダーやフッターなど、サイト全体の要素を指定すれば、チームの誰もが簡単にその要素をページに組み込めるようになります。

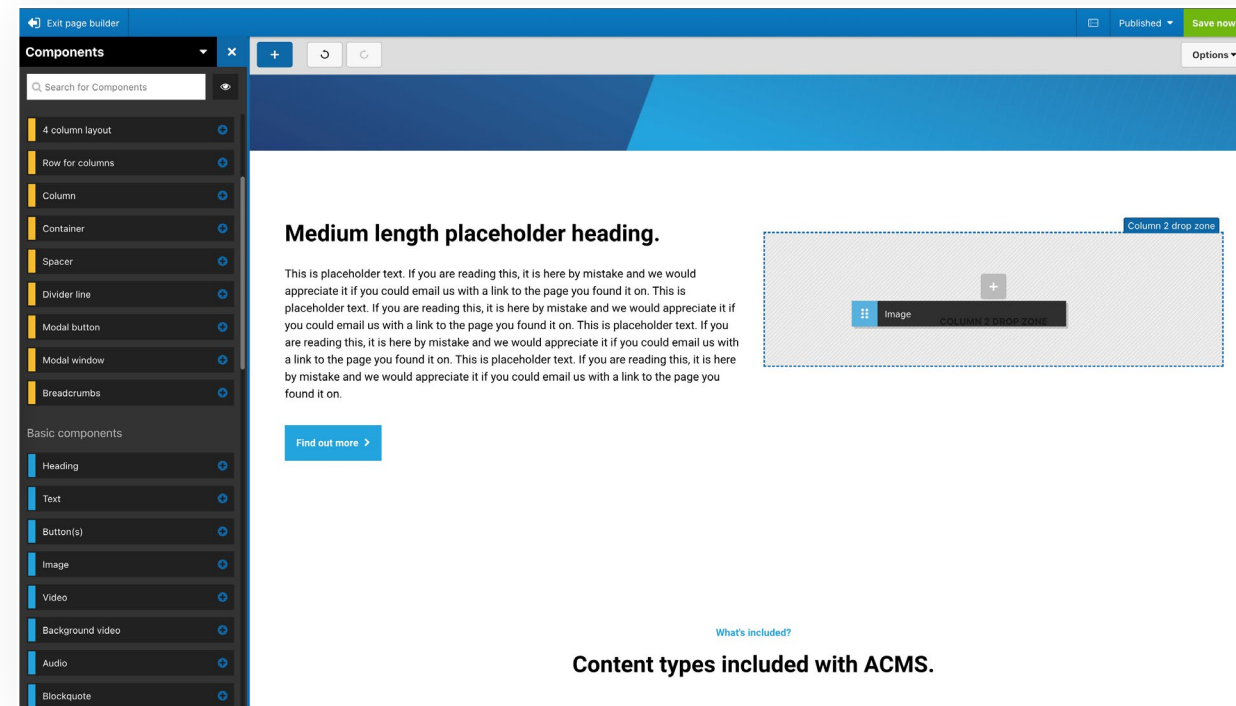
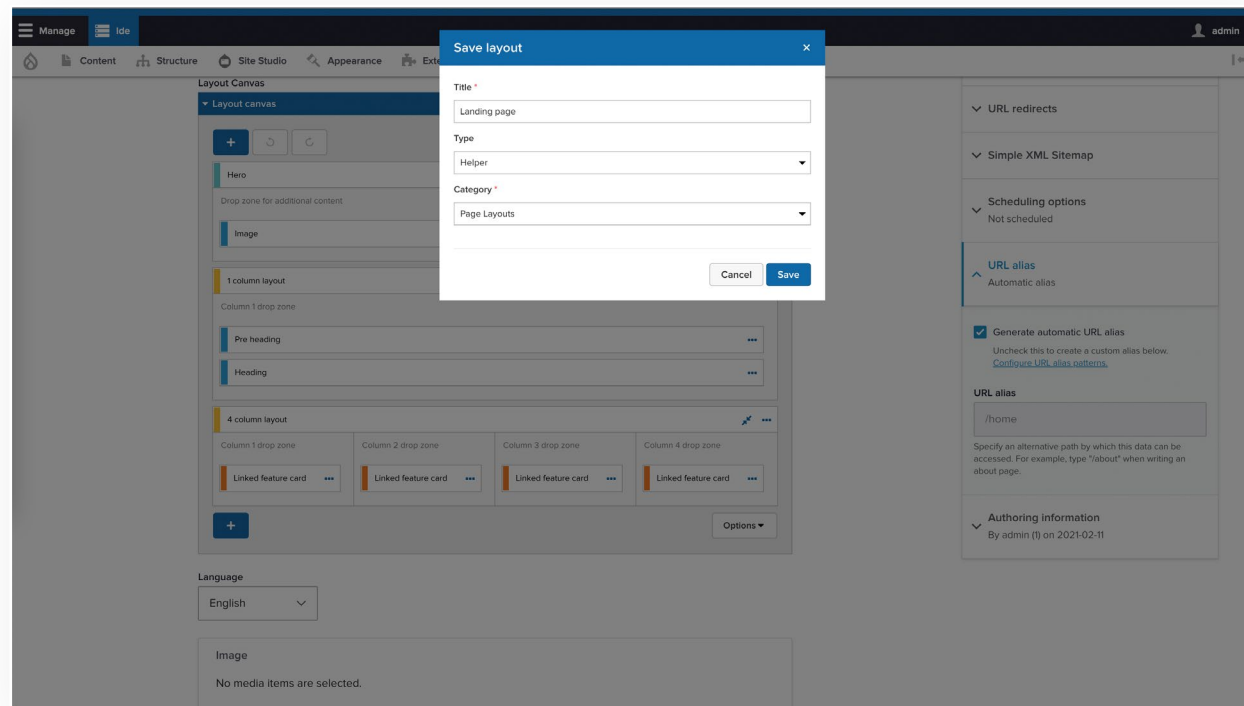
複数の地域でいくつかのブランドを展開している大企業の場合、地域ごとにサブブランドのサイトを簡単に作成することが可能です。サイト間でスタイルの違いはあっても、ブランドの本質的な要素は一貫しています。



ITチーム、開発者

Site Studioは、コンテンツを作成・更新する作業をDrupalの開発者からコンテンツ作成者に移行させます。これにより、開発者はeコマース、アプリケーション構築、ビジネス統合、ビジネスルール、機能性など、より複雑で重要な業務に集中できるようになります。その結果、開発者はより多くの時間を価値の高い作業に費やすことができるのです。

SITE STUDIOの 使いやすさの秘密



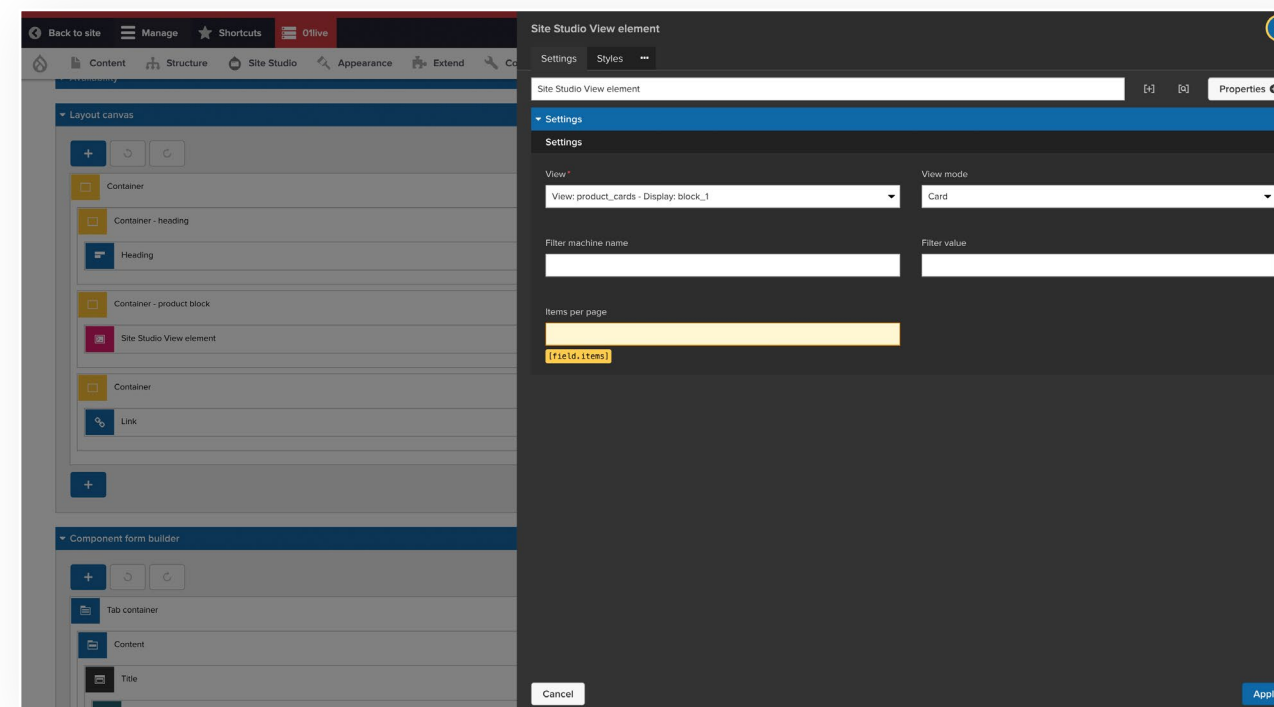
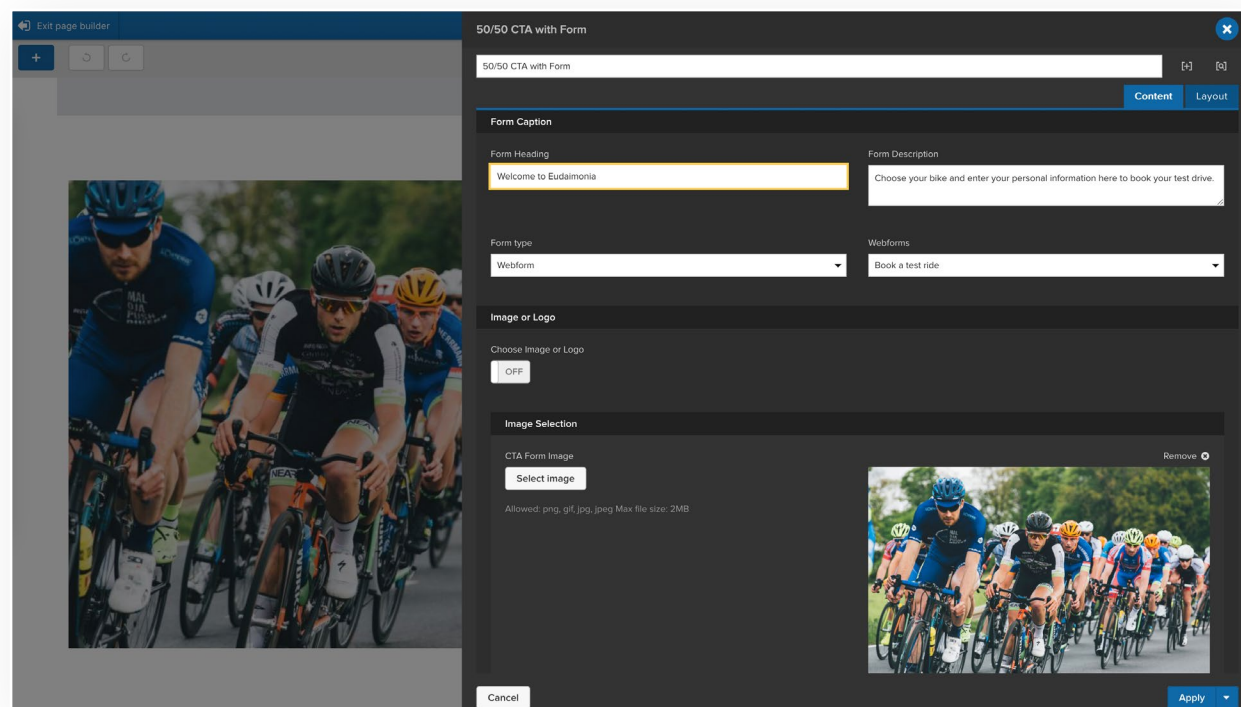
再利用可能なコンポーネント

Site Studioでは、ページ作成者が個々のWebサイトでコンポーネントを再利用できるため、ブランドスタイル、コンポーネント、テンプレートを簡単に同期させることができます。さらに、ライブラリ内の再利用可能なコンポーネントに変更を加えると、そのコンポーネントのすべてのインスタンスが自動的に更新されます。これは、新しいページを構築する際に大きな時間の節約になります。



ドラッグ&ドロップ・インターフェース

シンプルで直感的なドラッグ&ドロップ式のインターフェースを採用しており、実際にコードを書くことなく、充実した機能を提供しています。マーケティングやコンテンツチームは、専門的な知識を必要とせずにページの作成、レイアウトの更新、コンテンツの編集を行うことができます。ただし、Webサイトを構築・維持する過程において、開発者の力が必要な箇所があります。例えば、Site Studio自体の実装や、再利用可能なコンポーネントの構築を行う際には、開発者が必要になります。しかし、一度コンポーネントを構築してしまえば、あとはコンテンツ作成者、デザイナー、サイトビルダーが、シンプルなビジュアル・インターフェースを使い、コンテンツやページ作成を始められます。



オーダーメイドの編集

このローコードアプローチにより、マーケティングやコンテンツチーム用に編集操作画面をカスタマイズで作成することもできます。Webサイトのあらゆる部分を一元管理する許可制のアプローチにより、大規模なデジタル資産においてもブランドのコンプライアンスをグローバルに管理することが可能です。サイトビルダーは、法的免責事項、定型文、商標要素など、編集不可能なコンテンツを指定することもできます。



カスタム・コンポーネント

Site Studio 6.9で初めて導入されたCustom Componentsを使えば、ローコードツールではなく、コードでコンポーネントを作成することも可能です。これにより、PHPとTwig、JavaScriptとReact、または他のライブラリなど、それぞれ好みのアプローチでコンポーネントを作成し、高い柔軟性とアクセシビリティを実現できます。またCustom Componentsは、定義した要件に応じて特定のプロジェクトやユースケースの要求を満たすよう、Site Studioの機能を拡張します。

事例

ZSCALERがコスト削減、生産性向上、市場投入までの時間短縮を実現した方法

Zscalerのソリューションは、何千ものお客様をサイバー攻撃やデータ損失から保護し続けています。多くの企業と同様、彼らの業務部門はマーケティングチームに大きく依存し、顧客との関係を構築していました。しかし経営陣は、すべての部署がブランドの一貫性を維持しながらも、すぐに変更を加えることができるダイナミックで柔軟なツールによって、関係者に権限を与える必要があることを認識していました。

ZscalerのWebマーケティングチームは、マーケティング組織全体がWebサイトに効果的な変更を加えることができるSite Studioを導入。Site Studioの独自のインターフェイスにより、ターゲットユーザーと対話し、サイトへの変更を直接行えるようになりました。このためWebチームは、サイト全体のより複雑な変更により効果的に集中できるようになったのです。

Site Studioを導入して以来、Zscalerが得られた効果には次のようなものがあります。

- ／ コストを80%削減
- ／ 生産性が400%向上
- ／ 市場投入までの時間を75%短縮
- ／ ガバナンスの強化
- ／ テンプレートを新規作成し、展開する作業を削減

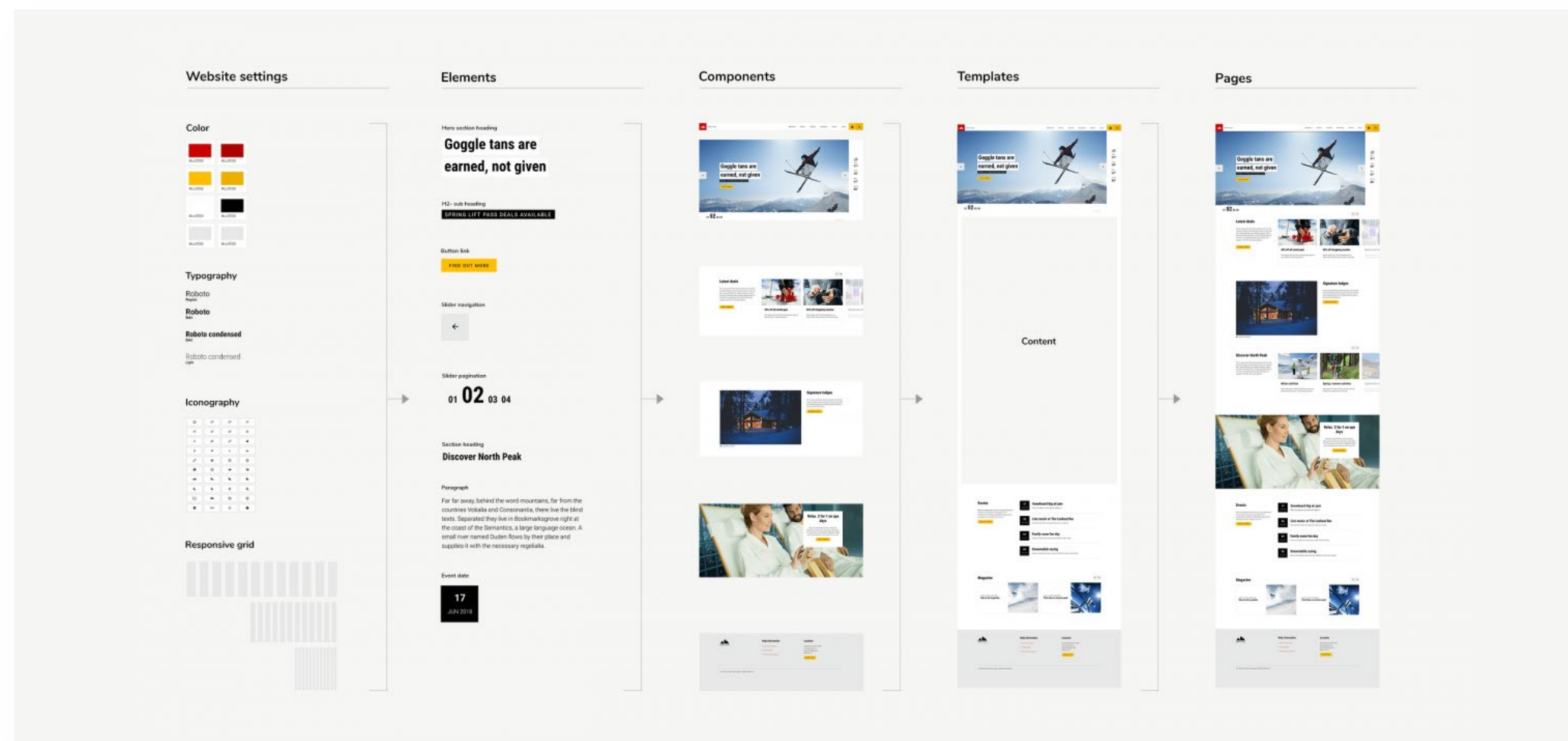


SITE STUDIOが デジタル体験の構築 方法を一新する理由

コンポーネントベースの デザインアプローチ

コンポーネントとは、Webページでエディターが使用するレイアウト、スタイル、機能、編集エクスペリエンスを含む再利用可能なアセットのことです。コンポーネントベースのデザインシステムでは、一つデジタルアセットを作成すれば、それを何度でも再利用することができます。つまり、ページごとにデザインするのではなく、デザインをより小さな構成要素に分解していくのです。個々のパーツは非常にシンプルですが、それらを組み合わせることで、効果的なページやサイトができあがります。コンポーネントベースデザインの根底にあるのは、「一度作ればどこでも使える」という考え方なのです。

コンポーネントベースの設計では、デザイナー、開発者、プロジェクトマネージャーが利用するコンポーネントについての全体的な知識共有が可能になります。また、より一貫性のあるデザインとUXを強化することで、チームは新しいデジタル製品をより早く作成し、同じようなコンポーネントの再設計や再構築に費やす時間を



最小限に抑えることができるようになります。

コンポーネント・ライブラリー

Acquia Site Studioには、基本的なHTML要素から高度なインタラクティブデバイスまで、さまざまな要素がライブラリーとして含まれています。サイ

トビルダーはローコード・コンポーネントビルダーを使用することで、マーケティングやコンテンツエディター用にライブラリーを構築することができます。

一度構築したコンポーネント・ライブラリー（または個々のコンポーネント）は、Site Studioのパッケージ管

理システムを使用して、関連するコンポーネントと共にエクスポートすることができます。これらのパッケージは、デプロイメントワークフローで使用したり、ブランディングを維持しながら新しいプロジェクトの構築を促進する、生きたデザインシステムとして活用できるでしょう。

WEBページをより速く より簡単に構築したいチーム のために生まれたシステム

**Drupalの持つパワーをローコード
サイト構築のアプローチで活用し
ませんか？ぜひAcquia CMSをお
試してください。**

Acquia CMSはDrupalを搭載し、Acquiaプラットフォーム向けに最適化されたコンポーザブルかつハイブリッドなオープンソースCMSです。これにより、デジタルコンテンツとエクスペリエンスの管理が簡単にできるようになります。

Acquia CMSを導入いただくと、エンタープライズ用のローコード・スターターキットにアクセスできるようになります。

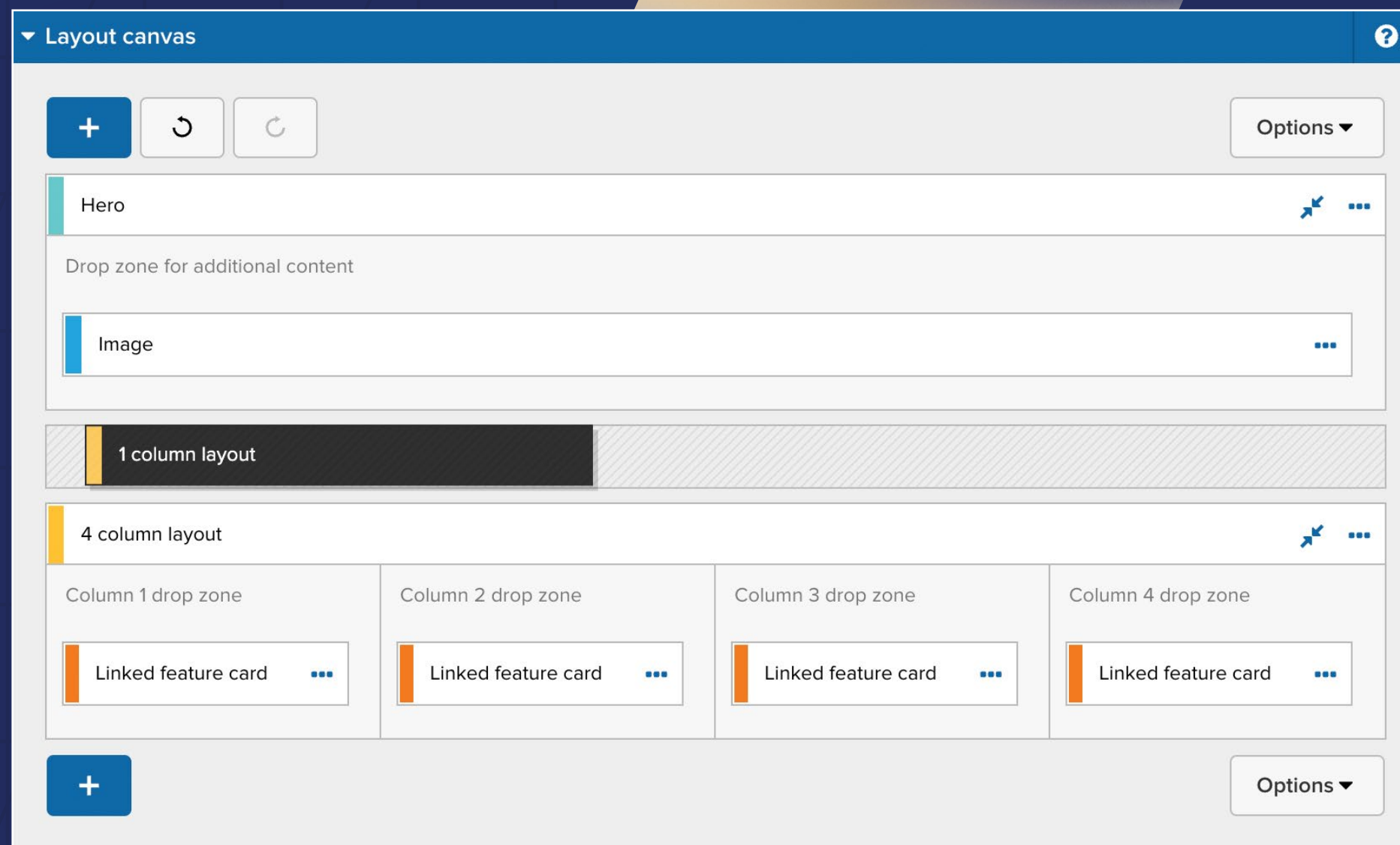
これには、Site StudioとSite Studio UI Kit、推奨のコミュニティモジュール、コンテンツモデル、Acquia CMS Commonが含まれます。サイトを作成・管理する前にはまず、Site Studioの基本的な機能を理解する必要がありますが、Acquia CMSとSite Studioを組み合わせることで、強力な連携が可能になります。

Acquia CMSのエンタープライズ向けローコード・スターターキットは、コンテンツ作成者、ビジネスユーザー、マーケティングチームがDrupalの持つパワーをより早く活用できるよう、誰もが簡単にコンテンツやページの構築を始められる出発点を提供するものです。

まとめ

早速始めましょう





Acquia Site Studioは直感的な操作が可能なサイトビルダーで、チーム内の誰もが使用することができます。その革新的なローコード、視覚的なDrupalサイト構築方法は、企業にとって大きな変革となり、ブランドを100%維持しつつ短時間でサイトの立ち上げが可能になります。

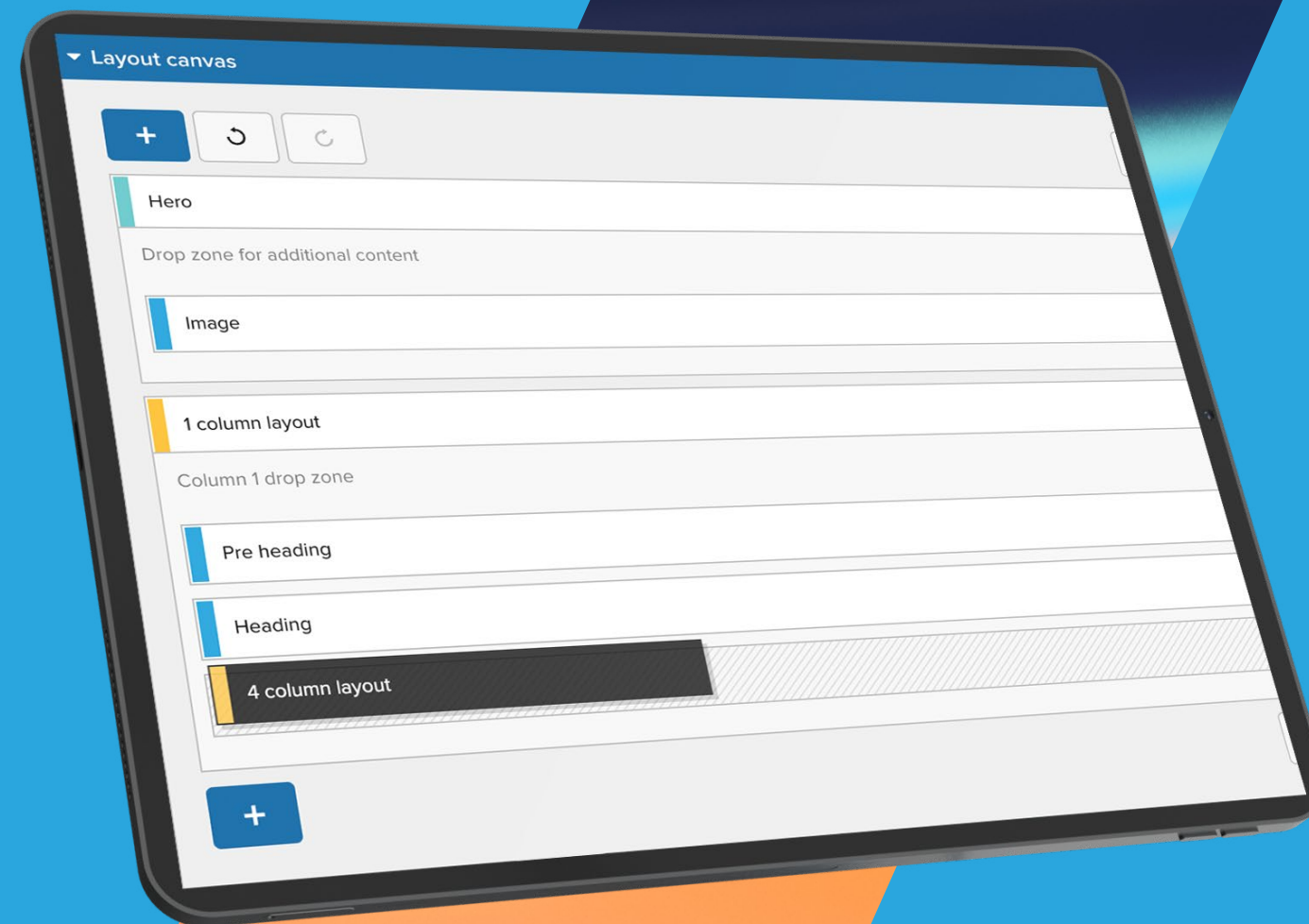
Acquia Site Studioにより、マーケティング、デザイン、開発の各チームがより効率的に連携し、真のアジャイルマーケティングを実現することができます。

これにより、顧客に対して卓越したデジタル体験を提供することが可能になります。

ACQUIA SITE STUDIOを実際に体験してみる

Acquia Site Studio を使用して、社内の誰もがページを作成したり、既存のページに変更を加えたりできるようになります。このローコード、ビジュアルベースのアプローチ、使いやすいドラッグ&ドロップのインターフェースによって、ランディングページやイベントページなど、優れた顧客体験に必要なものを簡単に構築できるようになります。

[サンドボックスを申し込む](#)



Acquia

ACQUIA.COM

アクイアについて

アクイアは、世界中で最も革新的なブランドがデジタルカスタマーエクスペリエンスを創造できるよう支援しています。オープンソースのDrupalを中核とするAcquia Digital Experience Platform (DXP) は、世界中のマーケター、開発者、IT運用チームなどが、顧客満足度やコンバージョン率を高め、競合他社に差をつけるデジタル製品やサービスの迅速な構築・展開を可能にします。

